

冬の花 シクラメン

「失礼します。2年生農業系列の〇〇です。シクラメンをお持ちしました。」と、突然校長室に実習服を着た生徒が大勢で来てくれました。「鉢はこの中から（3つありました）2つを選んでください。」“じゃあ、これとこれ”と二つ選び、校長室に飾ろうとしたところ、隣の事務室から事務長さんが「記念撮影しましょう！」と声をかけてくれて、記念撮影をしました。

殺風景な校長室の景色が、このシクラメンで一変しました。シクラメンは花の少ない冬に多くの花を咲かせてくれる球根植物です。島根県の花き特産品として、トルコギキョウ、牡丹、菊、薔薇、紫陽花などがありますが、シクラメンも本県の特産品の一つです。本県のシクラメンの生産は西日本でも有数の産地で、品質的にも高い評価を受けています。県内に5校ある農業系の高校でもシクラメンの栽培を行っています。本校も農業系列園芸モデルの生徒を中心に栽培を行っています。

先般行われた邇摩高フェア 2020 でもこのシクラメンを販売しましたが、お客さんに十分買っていただく量のシクラメンを販売することはできませんでした。例年ですとこのフェアは12月にウインターフェアとして行っていたため、今年はフェアが約1ヶ月早まったこともあり、開花が間に合わなかったということです。現在、12月19日(土)に『クリスマス農業祭』を行うよう農業系列では計画しており、そこで販売する予定です。

シクラメンの花の色は、赤、白、紫色、ピンクなどがあります。現在、グラデーションのかかるものや多弁咲きのものなどが開発されています。燃えるような花姿とは相反するような、“清純”や“内気”といった花言葉をもつシクラメン。シクラメンの花は花びらが上を向いていますが、実は花の向きは下向き。下を向いて花粉を守っている姿が恥ずかしがっているように見えたのでしょうか。

生徒たちが自信と愛情を持って育てたシクラメン。冬の花としてぜひお楽しみください。

